



## 沿革

創立者 塩田 の里は、昭和3年、千葉市吾妻町(現在の千葉市中央区中央2～3丁目)の塩田洋服店に生まれた。太平洋戦争で焼かれた店を建て直すべく、20歳で洋裁学校にて勉強を始めた。

しかし、世の中を明るく幸せにするには、幼児教育が不可欠と考え、保育学校に進路を変更し、資格を取った。情操教育を何よりも重要と考え、羔幼稚園で実務を学んだ後、昭和28年6月9日、私財を投じて、千葉県認可「私立 ひまわり幼稚園」を中央区松ヶ丘町に開園した。

堅実な経営が認められ、更に経営基盤を確立し、安定したものとするべく、昭和59年に「学校法人 塩田学園」を設立した。また、その夫、塩田 繁次は初代理事長となり、幼児の成長を心から願い、全ての園児に愛情を注いだ。更に、2代目理事長 塩田 幸広(星 幸広)は、近年の急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い多様化する保護者や地域のニーズに応えるため、平成29年「認定こども園」に移行した。令和2年より、創立者の娘、塩田 梨佳が3代目理事長を務めている。



## 建学の精神

「明るく幸せな家庭は、幼児教育から」

昭和 29 年 3 月 第一期生 卒園式



ひまわり幼稚園 創立者 塩田の里

